

# 第7回次世代シンポジウム運営委員会(旧若手教員会議)

## 議事録・報告書

日時：令和元年6月1日(土) 12:10~13:05

場所：日本薬学会 長井記念ホール 会議室

参加者：薬系大学に所属する(または、所属経験を持つ)准教授・講師、助教、助手

全体議長：塚野千尋(京都大学、第18回次世代シンポ実行委員長)

記録：下川 淳(京都大学、第18回次世代シンポ実行委員)

### 出席者

#### 1班

坂井健男(名城大薬)、森本浩之(九大院薬)、林 賢(明治薬大)、澤間善成(岐阜薬大) 石田寛明(昭和薬大)、森崎一宏(京大化研)

#### 2班

井川貴詞(阪大院薬)、神野伸一郎(愛知学院大薬)、大内仁志(静岡県大薬)、安井基博(神戸薬大)、樽井敦(摂南大薬)

#### 3班

武田紀彦(神戸薬大)、熊田佳菜子(東北大院薬)、松本健司(徳島文理大薬)、小西英之(静岡県大薬)、小谷俊介(熊大院生命)、鳴海哲夫(静岡大総合)

#### 4班

山本大介(北里大薬)、浜田翔平(京都薬大)、伊藤寛晃(東大院薬)、藤原朋也(富山大院薬)、伊藤幸裕(京都府立医大)

#### 5班

渡邊瑞貴(北大院薬)、葉山登(武庫川女子大薬)、嶋田修之(北里大薬)、吉村智之(金沢大医薬保)、太田浩一郎(東京薬大薬)

合計 27名(敬称略、下線は取りまとめ役)

議題「有機化学教育の充実を目指してモデル・コアカリキュラム改定案の提案」

方法：参加者には事前に下記の事項を記載した質問票を配布し、その資料を基に討論を行なった。討論は、上記の5グループで行ない、グループ内の討議内容を取りまとめ役(下線)が発表した。

### 討議事項

平成28年度教科担当教員中央会議の議事録では「改訂モデル・コアカリキュラムの次の改訂に向けて、各教科担当教員会議で協議したことを薬学教育協議会のカリキュラム検討委員会で検討し、いつでも文部科学省へ意見を述べられるようにしたい。」と報告されている。一方で、有機化学教科担当会議では、モデル・コアカリキュラムに関するアンケート調査が行われているが具体的に各SBOsに踏み込んでい

ない。そこで今回、有機化学教育をより充実させるため、次の改訂に向けて、具体的な改定案を取りまとめるために下記点について議論した。

- a. 現モデル・コアカリキュラムのC 3, C 4に関するSBOsで内容が細かすぎるため、統合して1つのSBOsにするなどした方がいいものはあるか？
  - ・現状のままがよい、あるいは大きく減らしてスリム化するかに意見が分かれた。
- b. もう少し細分化した方がよいSBOsはあるか？
  - ・ヘテロ環、無機化学、イオンチャネルについてSBOを細かく分割すべきか意見が出た。
- c. 削除あるいはアドバンス教育で教えればよいSBOsはあるか？
  - ・機器分析（IR や MS 解析）、および、C3（5）無機化合物・錯体の構造と性質はアドバンス教育で教えればよいとの意見が出た。
- d. 新たに追加あるいは充実させた方がよいSBOsはあるか？
  - ・創薬の項目（歴史、背景、医薬品誕生生物語など）、医薬品の作用機序に関する理解、基本的な反応（アルドール反応、マイケル反応など）はSBOに記載すべきとの意見が出た。

以上